

第6回 小美玉発! 『グランプリに輝くのは、この15組の中の一体誰だ!?!』

# スター★なりきり歌謡ショー



## 出演者15組決定!!



河野 誠 『田園』 (玉置浩二) |
 伊藤 博文・徳永 研治 『大都会』 (クリスタルキング) |
 近藤 磨弓 『おさらば故郷さん』 (加賀城みゆき) |
 吉田 孝 『このまま君だけを奪い去りたい』 (DEEN) |
 長峰 光春 『I LOVE YOU』 (尾崎豊)



藤田 絹代・広山 啓子 『恋のパカンス』 (ザ・ピーナッツ) |
 濱内 幸子 『壺坂情話』 (中村美津子) |
 大沢 浩 『しるし』 (Mr.Children) |
 宮河 佳代子 『童神～ヤマトグチ～』 (夏川りみ) |
 浅野 繁史 『父娘坂』 (秋 湖太郎)



呂 晁 キン 『千の風になって』 (秋川雅史) |
 米川 真里絵 『Precious』 (伊藤由奈) |
 河野 陽介 『夏の終わり』 (森山直太朗) |
 渡邊 隆 『恋の手本』 (山内惠介) |
 片岡 和恵 『レット・イット・ゴー～ありのままで～』 (May J.)

**チケット発売:1月31日(土)10:00~/本公演:3月22日(日)15:00開演**

◆入場料:大人1,000円/高校生以下500円 ※全席指定 ※2歳以下入場不可

## CHEER 皆さんの記念イベント、応援します。

### 1年前から予約ができる、ちょっとしたサービス

アピオス・みの〜れで定期的に公演や企画展を行う団体が増えています。『住民の文化創造活動の拠点』としての役割を果たすため、「記念イベントを実施しやすい環境を整えたい」と、考えました。ホール予約は通常なら6ヶ月前の同日からですが、記念事業に限り、1年前の同日から予約できるちょっとしたサービスです。

### 小美玉市を拠点にする方へのサービスです

- ①小美玉市内を拠点に活動する個人及び団体であること
  - ②記念イベント(概ね5年単位)であること
- 以上が条件となります。

詳細は各館HPもしくは直接お問い合わせください



演劇集団スリーサイズ15周年記念公演「駆け落ち」



第10回MJCダンス発表会

## REPORT

中学校芸術鑑賞会のテーマは“劇場体験”。でも、ちょっとその前に...

### 中学校吹奏楽部向けクリニック&学校芸術鑑賞事業(中学校の部)



楽器の吹き方だけでこんなに音色が変わることに驚きました!

最初は緊張していたけれど、先生が面白くて楽しかった!

今日教えてもらったことを忘れずに、これからも良い演奏ができるようにがんばります!

▲中学校芸術鑑賞会への理解を深めてもらうため、そして小美玉市内の吹奏楽部のレベルアップを図るため、「吹奏楽部向けクリニック」を開催。講師は東京室内管弦楽団の三澤慶さん(トランペット奏者)。

2014.11.29 玉里中学校&小川北中学校

### 2014.12.3 Minole



▲52名編成の東京室内管弦楽団による圧巻の演奏。



▲三澤さんの楽器紹介



▲チケットもぎり体験

芸術鑑賞会終了後、「吹奏楽部向けクリニック」を受けた中学生に、インタビューをしました。玉里中2年生の染谷さんは「楽団の皆さんのすごさを直に感じました。私は、クラリネットを担当しているので、もっと上手くなれるよう頑張ります」。小川北中2年生の藤田さんは「動きがそろっていて綺麗だった」、慶野さんは「管楽器、打楽器の一体感到感動した」、慶野さんは「CDで聞くのとは全然違う。生音は心が震えた」と話してくれました。この4人の生徒さんたちはオーケストラを聞くのが今日初めてとのこと。劇場内は、アンコール曲「ラデツキー行進曲」によって熱気に包まれていました。

くみのんぱ編集部 野手利江>

## REPORT

みの〜れときめき隊企画のものづくりワークショップ

### おやこで凧づくりにトライ

昨年に引き続き第2弾となる今回。メンバーは今年の春先から準備に入り、6月には竹ひごや和紙を切り出し試作凧を製作しました。ワークショップ会場は、たくさんの親子連れの熱気で、この日の雨雲を吹き飛ばす勢いすら感じられました。絵に色付けしたり、ぎこちない手つきで作業する子どもの視線を一身に受け、緊張気味の親たち。微笑ましい光景が見られました。この日生まれた凧たちは、現在ときめき美の小径に展示中です。みの〜れの年中行事“凧づくり”の成果をご覧ください。

<四季文化館企画実行委員 宮嶋 勇一郎>



2014.11.29 Minole

## REPORT

みの〜れ美術ワークショップ

### 自然に調和する彫刻たち

陶芸家の宮路久子先生と、みの〜れ芸術展実行委員で、現地見学など、一から創り上げた今回の企画。数千年前の出来事を彫刻で表現した宮路先生は、「古くからその場所に存在する、まさに今回のタイトルにもあるような“自然に調和する彫刻”に自分の製作した彫刻もなってもらいたい」と想いを語っていました。それぞれの遺称地で地元の方々が昔の人の想いを大切に、作品を護られている様子が垣間見え、感銘を受けました。遠方から夫婦で参加された方もいて、大好評のワークショップになりました。

<みの〜れ芸術展実行委員 相原 俊昭>



2014.11.30 小美玉市近辺